LPSに認知症予防改善効果見出す

第13回自然免疫シンポジウム

マイクログリア貪食能活性化
糖化ストレスと脳への影響

第13回自然免疫シンポジウム（自然免疫制御技術研究組合主催）が7日、「認知機能と自然免疫」と題して東京港区のグランパークカンファレンス401ホールにおいて盛大に開催した。4つの講演が行われ、マイクログリア（脳組織マクロファージ）のアミロイドβを貪食しLPS（リポポリサッカライド）が貪食機能を活性化する研究、LPSと量子医学、認知症と糖化ストレスの関係性等多彩な講演が行われ、中でもLPSによる認知機能予防改善研究等が大きな注目を集めた。

シンポの冒頭、同研究組合代表理事の柚源一郎氏、経産省生物化学産業課の新階央氏、バイオインダストリー協会専務理事の塚本芳昭氏、四国産業・技術振興センター理事長の池澤寛氏が登壇し、開会の挨拶を行った。柚代表理事は、「認知症予防改善等に資する自然免疫やLPSに関する研究と開発の現状やこれからの展望を理解していただく機会」と挨拶した。

プログラムは①認知機能と自然免疫（麻布大学生命・環境科学部、本田晃子教授）②パントエア菌LPSの臨床試験から見えてきた脳と腸の関係性について（医療法人ふじいやさか表参道ファミリークリニック、森鳶淳友院長）③認知症予防改善におけるLPSの可能性（自然免疫制御技術研究組合、河内千恵理事）④認知機能への影響因子：腸内細菌叢、睡眠、食育（同志社大学生命医科学部、米井嘉一教授）の順に登壇した。

本田教授は、高齢者でもマイクログリア活性化によって貪食能を維持し、アミロイドβの蓄積を防止することが可能であれば、アルツハイマー型の認知症の発症を予防する観点で研究を進めており、LPSの経口摂取によるマイクログリアの貪食能増強効果等を報告した。

森鳶院長は、今自然がもたらすものが検査できる時代になり、量子医学が出てきて、周波数による検査ができ、目に見えない自然の叡智が検知できるという。LPSの治療の話題も提供した。

河内理事は、LPSによる認知症予防・改善効果があることを報告、メカニズムとして膜結合型CSF1がリンパ球に連ばれマイクログリアを刺激することを推測した。

米井教授は血糖スパイクがアルデヒドスパークを起こすこと、糖化ストレスと認知症と老化の関連について解説した。

同社が昨年12月24日に届出した「ツボクサカプセル」（届出番号J940）は、機能性関与成分をアシアチン酸およびアシアチコシドとするサプリメント。表示する機能性は「本品には、アシアチン酸、アシアチコシドが含まれます。アシアチン酸、アシアチコシドには、高齢者が健康的な日常生活を送るために必要な下肢の筋力の維持に役立つ機能があることが報告されています。」となっており、一日あたりの摂取量は2粒（アシアチン酸6.4mg、アシアチコシド19・2mg）としている。

研究レビューでは、健康な高齢のタイ人男女を対象にアシアチン酸とアシアチコシドを合計12・49mg・3カ月間摂取するランダム化二重盲検プラセボ対照試験を実施した。その結果、30秒間椅子立ち上がりテストのスコアがプラセボに比べ有意に改善された。同テストは下半身の筋力における

への対応化となる。

日本健康食品工業会

受託製造25社で始動
〝連携による発展〟目指す

健康食品の受託開発製造企業らが〝連携による発展〟を目指す「一般社団法人日本健康食品工業会（日健工）」は11日に都内の大手町サンケイプラザで設立記念祝賀会を開催し、企業、学識者、政府関係者など約135名が集まり大いに盛況を博した。役員企業として新たに加わった東洋新薬のほか、正会員20社を紹介し、総勢25社で調査や

具体化していく。

会合の冒頭、野々垣孝彦会長（アピ代表取締役社長）が挨拶し、昨年生じた一連の健康被害事案が業界全体に試練をもたらしたとした上で「消費者の信頼をどう取り戻し、業界の持続可能な未来を築いていくのか。その答えを示すのは、健康食品業界をモノづくりの形で長年支え続けてきた、まさに、ここに集う私たち受託開発製造企業一社一社の行動にかかっている」と訴えた。日健工の活動は行政・業界団体・アカデミアに加え、原材料メーカーや販売企業を含めた〝連携〟と、受託開発製造企業同士の

た、受託開発製造企業全体のレベルアップを目指すとした。また、役員として東洋新薬代表取締役社長・服部利光氏が副会長に就任することを明らかにした。

祝賀会では武藤容治経済産業大臣（代理出席）や自見はなこ前内閣府特命担当大臣など、与野党の国会議員5名らの来賓が日健工の活動と業界の健全な発展を祝した。

▽役員企業：アピ／AFC－HDアムスライフサイエンス／アリメント工業／三生医薬／東洋新薬▽会員企業：アスナロ化工／アダプトゲン製薬／ウキシマメディカル／ウメケン／伊豆食文化公園／エアアイコーポレイション／協和薬品／サプリメントジャパン／三協／シェフコ／住岡食品／太陽エフ・ディ／中日本カプセル／ニチヤク／日成興産／日本タブレット／ビーエイチエヌ／備前化成／堀内食品工業／リプロス（50音順）

白鳥薬品

ツボクサで初の届出受理
〝下肢の筋力維持〟を表示

白鳥薬品は、ツボクサ由来の「アシアチン酸、アシアチコシド」を関与成分とする機能性表示食品について〝下肢の筋力維持〟表示で届出し、6日に受理・公開されたことについて明らかにした。ツボクサおよび含有成分では初の機能性表示

食と免疫研究で講演

―神鋼環境ソリューション・アイメックRD―

エビデンス構築の理解深まる

神鋼環境ソリューションとアイメックRDは24日、食と免疫研究に関するオンラインセミナーを共催する。セミナーでは、免疫と機能性表示食品の開発に関わる最新情報と、今後の展望について深く掘り下げる。

「免疫研究フロンティアと機能性食品ビジネスの未来～免疫に関する新たな機序・関与成分での届出～」セミナーは、食と免疫研究と科学的根拠となった臨床試験結果を紹介する。

第三部では、免疫研究における域の事例も交えながら、食を中心にした健康増進の研究と、食を

起点とした免疫に関わる最新の研究トレンドについて、Aging Clockなどの研究課題も含めて解説する。

第二部では、新たに「免疫」で機能性表示食品の届出の受付が完了した素材と科学的根拠となった臨床試験結果を紹介する。

第三部では、免疫研究における

術が、いかに免疫研究の深化と新たな機能性表示食品開発に貢献できるか、具体的な事例を交えながら紹介していく。

▽日時：3月24日15時～16時30分▽タイトルと登壇者：①「免疫老化研究の最前線～食による健康長寿へのアプローチ～」京都府立医科大学大学院医学研究科生体免疫栄養学講座教授、医学博士・内藤裕二氏②「新たな免疫機能性表示食品の登場～臨床試験データが拓く新時代～」神鋼環境ソリューション技術研究所環境事業推進室開発グループ・河野高徳氏③「免疫研究を加速するテクノロジー～測定分析技術の進化とR&Dへの応用～」アイメックRD企画営業部R&Dデザイン課マネージャー・三浦徳氏▽参加費：無料▽参加方法：下記URLから申込み。https://rdgroup.seminar.one.com/20240324_seminar_imeq/event/▽問合せ先：アイメックRD企画営業部セミナー事務局（sales-div@meqrd.co.jp）まで

ダイムシフトをもたらす　れてこなかった。一方、パーの皮膚を使ってコラ　出された線維を補強する

配合調味料各種は実績ある弊社にご相談ください
複合調味料 ベスト味 粉末・顆粒
甘味料 ステビアトーA（ステビア）各種製剤
甘味料 フジトーT（甘草）各種製剤
TRADE MARK 富士食品株式会社
東京都世田谷区桜新町2-20-12 TEL.03-6432-6435(代表)

する機能性素材
れる健康効果
-イノシトール
）
用）
ルデヒド分解）
コラーゲンペプチド（皮膚の弾力性・保湿性増進）
ケフィアパウダー（整腸作用、抗腫瘍作用）
アッケシソウパウダー（宿便、便秘の改善）
共役リノール酸（蓄積型脂肪減少）
ン
分室：〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町1-1-5-206 TEL:0422-20-1770 FAX:03-6368-6644
本社：〒181-0011 東京都三鷹市井口1-21-62-105

色は自然と共に…
We are always thinking for the beautiful color world
食用色素　機能性色素
天然色素　医薬品・化粧品用色素

ダイワ化成株式会社
http://www.daiwadye.co.jp/
本　社　埼玉県さいたま市中央区新中里5-7-1　TEL (048) 832-3121
大宮工場　埼玉県さいたま市見沼区上山口新田59-1　TEL (048) 685-2411

セティの栄養強化向け素材